

段 階	フローチャート	指導内容・指導上の留意点
みつける	<pre> graph TD     A[筆算方法についての話し合い] --&gt; B{筆算のしかたがわかったか}     B --&gt; C[練習題をやる]     B --&gt; D[ ]     </pre>	<p>6. <math>2.4 \times 53</math>の筆算形式について話し合わせる。  <math display="block">\begin{array}{r} 2.4 \quad 2.4 \quad 2.4 \\ \times 53 \text{は} \times 3 \text{と} \times 50 \text{に分けられる。} \\ \hline \end{array}</math></p> <p>整数は1位数でも2位数でも性質は同じだから整数と同じようにやってよいことに気づかせる。</p>
あてはめる	<pre> graph TD     C[練習題をやる] --&gt; E[練習題の答えについての話し合い]     </pre>	<p>7. 練習題をやらせる。</p> <p>① <math>1.3 \times 64</math>   ② <math>7.2 \times 32</math>   ③ <math>6.5 \times 48</math>  ④ <math>8.2 \times 230</math>   ⑤ <math>0.6 \times 147</math>   ⑥ <math>1.312 \times 6</math>  ⑦ <math>3.36 \times 23</math></p>
まとめる	<pre> graph TD     E[練習題の答えについての話し合い] --&gt; F[本時のまとめと次時予告]     F --&gt; G[E N D]     </pre>	<p>8. 練習題の答えをTPで提示し、各自に誤りに気づかせる。⑥、⑦は本時の学習した内容とちがうことを指摘し次時の問題とする。</p> <p>9. 本時までの演算方式についてまとめて、次時の予告をする。  ○小数(第1位)×整数(1位～3位)</p>

③ 小数第3位までの小数に整数をかける計算の方法を理解させる。

つかむ	<pre> graph TD     START([START]) --&gt; A[問題の確認(残された問題についての話し合い。)]     A --&gt; B[問題文の提示]     B --&gt; C[題意について話し合い]     </pre>	<p>1. 前時に残された問題の確認をさせる。</p> <p><math>1.312 \times 6</math>, <math>3.26 \times 23</math>のようにかけられる数の小数点以下のけた数がふえたとき、かけ算のやり方はどうなるだろうか。</p>
しらべる	<pre> graph TD     C[題意について話し合い] --&gt; D[問題の答えを自由に求める。]     </pre>	<p>2. 問題文の含んでいる意味を考えさせ、話し合いを通して、測量の問題にかえる。(考えさせやすいようにするため)</p> <p>3. 測定量の問題を提示する。</p> <p>1 mの重さが1.312kgの鉄ぼうがあります。この鉄ぼう6 mの重さは何kgでしょうか。</p>
みつける	<pre> graph TD     D[問題の答えを自由に求める。] --&gt; E[答えがいくらになるのかの話し合い]     E --&gt; F[1.312×6は7.872になるがどうやったらいいか]     </pre>	<p>4. 題意について話し合わせる。  ○わかっていること <math>1.312\text{kg}</math> 6 m  ○もとめること 全体の重さ (kg)</p> <p>5. 問題の答えがいくらになるか計算させる。(解き方は自由にする)</p> <p>6. 計算のいくつかを黒板に出てやらせ、答えのたしかめをするための話し合いをさせる。</p> <p>7. <math>1.312 \times 6 = 7.872</math>になるがどのように計算するか話し合わせ計算のしかたをまとめさせる。</p>